



Weekly Report



いい顔でロータリーを楽しもう

夢をかたちに

佐世保北ロータリークラブ 2008～2009年度 RI 会長 / 李 東建 地区ガバナー / 鈴木泰彦

会長/鳥越敏博 幹事/緒方信行 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数45名 出席 28名 欠 席 3名 出席免除会員出席 11名 ビジター 1名 出席率 92.86%
【前々回】会員数45名 出席 26名 メークアップ 5名 出席規定除外 14名 修正出席率 100.00%

《会長挨拶》

鳥越敏博 会長



皆様、ご存知のとおり、先日第44代オバマ新大統領が就任されました。

この混沌とした世の中において何故黒人の大統領が選ばれたのか。

それは、アメリカ国民が今までと違う流れを感じはじめたからではないでしょうか。地球の環境汚染、経済危機、戦争、貧困、教育不信などあらゆる負のエネルギーが充満した世の中で、国民は何かを気付き始めたのではないのでしょうか。

このような流れは単にアメリカだけではなく、日本においても、又、その小さな単位のこの佐世保においてもおなじことと言えると思います。

では、今、私たちは何を感じたらいいのでしょうか。地位やお金や権力など形として現されるものは もろくも少しの外的要因でうちくだかれてしまいます。

硬いよろいをはがされた時、何が残るか、それは人間としての資質ではないでしょうか。このように皆の気持ち落ち込み元気がない時、皆様がだれでもできることがあります。それは奉仕です。

相手の安心できる言葉や態度をとってあげることで。これも人の役に立つ立派な奉仕活動の一つなのです。奉仕をしてあげられる人は、それこそいい顔をしています。何故なら、相手を思いやる心に余裕があるからです。

又、逆に言葉をかけられた人も助けられるといい顔になります。人のやさしさにふれられるからです。まあ理想論かもしれませんがどこかに人間の質というものを忘れないで持ちつづけければ、必ず新しい流れにのり希望のある時代にたどりつけないか。それこそロータリーの信念ではないのでしょうか。

本日の挨拶はすこしかたくなりましたが、ただあたり

前のことをいっているだけです。オバマ効果が強く演説みたいになってしまいました。月に一回どはロータリーの話をした方がよいと思いこのような世界の大不況とロータリーの奉仕をつなげてお話させていただきました。

.....

《幹事報告》 緒方信行幹事

1. 例会変更

・佐世保西RC

2月3日（火）12：30→18：30～

雑魚屋（長寿会のため）

2月10日（火）休会（定款第6条第1節）

2. 来 信

・国際ロータリー

ザ・ロータリアン 2月号

・ガバナー事務所

第100回バーミンガム国際大会参加のお願い

・ガバナーエレクト事務所

次年度会長・幹事名簿作成について

・海上自衛隊佐世保地方総監部

西海 第72号

・オクトン

2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ幕申込書

3. 伝達事項

①1/29（木）第一ホテルにて18:30～より第2回被選理事役員会を開催いたしますので理事・役員の方はよろしく願いいたします。

②2/1（日）、唐津ロイヤルホテルにてIMが開催されます。登録受付13：00、開会点鐘13：30となっております。

内海和憲ガバナ－補佐

先ほどの鳥越会長のごあいさつを聞きながら・・・半年ですごく成長されていることに興味しました・・・本当に！

IMのプログラムですが、記念講演は、元関脇麒麟児で“わが相撲人生 継続こそ力なり”で、第2部の講演は、米山奨学生のチャンさんの（ハウステンボス佐世保スポンサー）留学の体験談になっています。

来週2名の新入会員の方々が入会されるとお聞きしました・・・スタート時に48名目指してください。

財団寄付と第100回国際大会の件・・・ガバナー事務所より文書が届いていると思いますが、この件に関しては積極的に行動されているので、お願いより、お礼を申し上げます。年度残り半年です・・・今後ともよろしくお願いします。

・佐世保南RC 岩間俊之 君

深町 等プログラム委員長

後期プログラムの卓話者の発表

夜の北斗会の開催の案内

第2回被選理事会開催の案内

[illegible]

宮崎有恒 会員

「私と温泉」



温泉を楽しんでいます。温泉の内部は高温のマグマになっているため、地中を100m掘るごとに温度は2℃前後上昇します。つまり地面を1,000mほど掘って湧き出

昭和23年に制定された「温泉法」では、「地中から湧出する温水、鉱水および水蒸気、その他のガスで湧出口の温度我25℃以上のものか、鉱水1Kg中に定められた量以上の物質が含まれているもの」となっており、湧出時の温度が25℃以上あれば無条件に「温泉」また25℃未満でも規定物質をどれかひとつでも含んでいれば温度が低くても「温泉」ということになります。

日本で一番多い温泉は、無色透明、無味無臭の「単純温泉」と呼ばれる泉質です。「単純温泉」とは突出した特定成分を含まない温泉、すなわち単なる地下水に一番近い温泉で、一見普通の湯と変わりありません。

心身を癒す温泉の効能 ----- それは温泉の成分ばかりではなく、湯に浸かって温まることによる温浴効果はさることながら、何よりも日常から解き放たれ、宿でくつろぎ、おいしいものを食べるといった気分的な効果もあるでしょう。

[illegible]

— 当会始まって以来の大口寄付で前年同期比増 —

12月までの寄付金は、前年同期と比べて8.43%増、約7,380万円増加となりました。普通寄付金が0.01%減、特別寄付金が11.38%増と大幅な増加へと転じました。これは、当会始まって以来となる1億円もの大口寄付をいただいたためです。

なお、12月26日付で、「2008年度下期普通寄付のお願い」を各クラブ宛にお送りしています。普通寄付金は寄付行為に定められているように、全ロータリアンからクラブを通じて定期的にいただくご寄付です。当会事業の安定財源となっていますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

「後が続いてほしい」

— ロータリアンから1億円の寄付！ —

昨年12月半ば、名古屋名東ＲＣ会員の坂本精志氏より1億円のご寄付を頂きました。経営するホシザキ電機株式会社（本社：愛知県豊明市）の上場にあたり、氏は株の売却益の一部を日頃から関心を寄せる団体に寄付。その一つに米山奨学会を選ばれました。

坂本氏はこれまで米山奨学生のカウンセラーを二度務められたほか、博士課程に進学した学友を援助するなど、外国人留学生の支援に熱心に取り組んでこられました。創業者であり、ロータリアンであった父の薫俊氏（故人）が、出身地の島根で進学困難な学生を支援していたことや、ご自身もロータリアンとして、勉学に勤しむ外国人留学生と関わる体験を得て、米山記念奨学事業への関心を深めたと言います。

「米山は、経費も最小限に抑えているし、多くの人がボランティアで熱心に事業を行っている。また、資金を投機に回さず、地道に使っていることも好ましい。上場を機に、おすそ分けの気持ちで寄付しました」と坂本氏。本来は匿名で寄付したいと、今回も含めてこれまで表彰品はすべて辞退されていますが、「後続く人が出てほしい」とのお気持ちから、今回記事として紹介することをご了解いただきました。

—前故宮博物院院長の林曼麗さんが講演—